

## 第10回パソコン集計担当者講習会を開催！

～NPO法人静岡県ソフトボール協会 記録委員会～

平成27年7月4日（土）掛川市「たまり一な」大研修室にて、標記講習会が開催された。本講習会は、公益財団法人日本ソフトボール協会記録委員会のコンピュータ研修および、東海PC研修の受講生らが講師となり毎年開催しているもので、今年は県下各地から22名が参加。開講式では地元・掛川支部の川隅理事長が演壇に立ち「記録は、目立たないが試合が終わってからも時間のかかる作業が待っている。見えない部分での力は大きく、縁の下の力持ちとしてこれからも頑張ってもらいたい。」と話し、参加者を激励した。

講習では、本年より小黒副委員長（浜松）に代わり東海コンピュータ指導者となった八木委員（焼津）が、全国大会における記録本部での作業について実際に入力を行いながら、午前中の講義を担当。午後は、戸田講師（掛川）より日本リーグにおける開催地での記録業務について指導が行われると、このあとパソコン入力での点検に関する新しいシステムや選手登録などの電子化にかかる業務について清水講師（浜北）より説明と指導がなされた。

記録委員会の芦澤忠委員長は、大会結果報告書についての確認事項などをパワーポイントで分かりやすく説明したうえで、「記録業務は選手や審判員、記録員の登録など大会前から始まっている。年度登録作業からの電子化を目指し、大会前後の記録業務のスリム化をさらに推し進めたい。」と話し、参画意識の醸成を促した。





～「第10回パソコン集計担当者講習会」の主な内容～

1. 全国大会の記録本部
  - ①記録3号の作成と点検 ②スコアカードのデータ入力 ③記録1号～6号のPDFファイルの作成 ④データの保存と圧縮 ⑤大会結果報告書を纏める
2. 日本リーグの記録業務（開催地担当）
  - ①スタートリストの入力・点検とPDFファイルの作成 ②記録4号の入力・点検とPDFファイルの作成 ③戦績表の作成
3. 入力点検に関する提案
4. 選手登録について
5. 総括と予告について（仮称：「1+1」コンテスト・案）